

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ



■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



IMAGINE
ROTARY

創立 1967年 12月 26日

- 会長 中野 秀一
- 幹事 杉原 巨峰
- 広報委員長 岡井 康弘
(会報)

大東ロータリー会長テーマ

「多様性溢れる個性を尊重し、
協調しながら未来へ」

2022年~2023年度
国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

令和 5年 2月 28日発行 No.2604 2022.2.14(No.2603)の例会記録

今週の予定 (2月28日)

「規定審議会報告」

橋本 正幸 ロータリー情報委員長

次週の予定 (3月7日)

「今年の阪神タイガースについて」

西條 義昭 会員
ゲストスピーカー 藤田 平 氏

先週の例会報告

◆ 出席報告 (2月14日分)

会員数 35名 出席数 26名 欠席者 5名

特定免除 4名 その他免除 0名

出席率 83.87%

前々回 2月7日分

会員数 35名 出席数 30名 欠席者 2名

特定免除 3名 その他免除 0名

出席率 93.75%

お知らせ

- ・ 2/28 例会
- ・ 3/4 会長エレクト研修セミナー
大阪国際会議場 12階 特別会議場 13:00~
- ・ 3/4-5 台湾スワンシーRC 創立32周年記念式典
- ・ 3/7 例会 理事会 **ガバナー補佐訪問**
- ・ 3/13 インターアクト合同会議
- ・ 3/14 例会
- ・ 3/14 四天王寺インターアクト40周年記念例会
- ・ 3/24 **例会 休会**
- ・ 3/25 ロータリーデー アルカスホール 13:00~



ニコニコ箱

後面に記載

累 計	1,686,000円
年 間 予 算	2,300,000円
達 成 率	73.2%

皆さんこんにちは。本日も例会にご参加いただき誠に有難うございます。

さて、先週発生したトルコでの地震ですが、日々、被害が拡大しております。昨日で死者数は既に3万7千人を超えたということです。お亡くなりになられた方々には心からのご冥福をお祈り致します。

また、現地では食料などが不足しており、支援物資が略奪され、強盗や詐欺などの犯罪が多発するなど、治安が悪化しており、支援活動を中止せざるを得ない国もあるという事です。現段階においては迅速な復旧がまずは求められるかと思いますが、助かった方々には今後一日も早く平和な日常が戻る事を祈るばかりです。

さて、今月はR Iが定める「平和構築と紛争予防月間」となっております。この度のトルコにおける地震は大規模な自然災害ではありますが、災害によって当たり前であった平和な日常が破壊され、サバイバルな環境下で争いが起こっております。

平和構築のために必要な支援物資を速やかに供給し、今後一日も早く復興していく為にも、私たちはロータリーを通じて、出来る範囲での国際奉仕活動を行ってまいりたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、平和な日常を送っております事に感謝し、本日の例会も皆様と共に、楽しく有意義なものとなります事を祈念申し上げ、本日の会長の時間とさせていただきます。



Rotary 
大東ロータリークラブ

委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

- ・結婚記念日 自祝 委員長 中崎 諭
- ・結婚記念日 自祝 岡本 日出士 君
- ・間委員長、国際奉仕の情報集会ありがとうございました。 中 恒夫 君
- ・間国際奉仕委員長、卓話、情報集会ありがとうございました。情報集会欠席 中野 秀一 君
- お詫び 杉原 巨峰 君
- ・先週はスパイラル現象でした 佐藤 多加志 君
- ・田川さん、大東さん、樋本くん、西山くんいつも有難う！ 東村 正剛 君
- ・間君ご苦勞様です 中嶋 啓文 君
- ・国際奉仕委員長、卓話、情報集会 大変お疲れ様でした 空門 満也 君
- ・情報集会ご参加ありがとうございます。会長、中嶋さんお世話になりました 間 紀夫 君
- ・お休みの間、親睦活動委員会のみなさまありがとうございました 森脇 克弥 君
- ・間国際奉仕委員長、情報集会お疲れ様でした。新たな試み、突然の担いありが 中崎 諭 君
- とうございました 中嶋 啓文 君
- ・間委員長、情報集会お疲れ様でした。中野会長、中嶋先輩ありがとうございます 樋本 有伸 君
- した 中野 剛 君
- ・間会員情報集会ありがとうございました。岡本会員、中島会員楽しい話ありが 中野 剛 君
- とうございました。



先週の卓話

「バレンタインの始まりについて」

森脇 克弥 親睦活動委員長

皆様こんにちは、本日は2月14日、バレンタインデーです。私も菓子工場をやっているという事もあり、せっかく2月14日に卓話が当たったわけですから、バレンタインデーの起原や日本におけるバレンタインのはじまりについてお話をしていきたいと思ひます。

バレンタインデーという日本ではチョコレートを贈るイベントというイメージが一般的だと思います。2月14日のバレンタインデーは世界的に知られたイベントですが恋人や友人へ贈るものでチョコレートが主役となるの



は日本ならではの文化だといいます。バレンタインの歴史はかなり古く、世界さまざまな国々で過ごし方も異なっているようです。

それではまずはバレンタインデーの起原や日本とは異なる海外のバレンタイン事情について色々とお話を進めていきたいと思います。

バレンタインデーの起原はローマ帝国時代までさかのぼります。当時のローマ皇帝クラウディウス 2 世は【若者が戦争に行きたがらないのは、ふるさとに残る家族や恋人と離れたくないからだ】として結婚を禁止していました。そのような状況の中、結婚もできないまま戦地に送られる若者をかわいそうに思ったキリスト教の司祭、バレンティヌスは若い兵士の結婚式を内緒で執り行っていました。これを知った皇帝はバレンティヌスを問いただし、二度と法に背かないように命じました。しかし、バレンティヌスはきかなかつたのです。その為に西暦 269 年の 2 月 14 日に処刑されてしまいました。その後、このバレンティヌスは【セントバレンタイン】という聖人として広く知られるようになっていったのです。このバレンティヌスが処刑されて以降、毎年 2 月 14 日は国民がお祈りする日となりました。これがバレンタインデーの始まりとされています。さらにその後、1000 年以上経過した 14 世紀ごろになると【バレンタインデー】として恋愛にむすびつけられるイベントがスタートしたと言われています。もともと聖バレンタインをいたむ宗教行事だったバレンタインデーが、現在のように「恋人たちの日」とされるようになった理由については、諸説あるそうです。もともと 2 月 14 日は、ローマ帝国の時代から、結婚の女神である「ユーノの祝日」とされていた日であります。人々はくじ引きにより、翌日におこなわれる「ルペルカリア祭」で一緒に過ごす異性を決めていました。この風習に聖バレンタイン伝説が加わったことから、ローマにおいて 2 月 14 日は「愛の日」として確立していったと言われているそうです。と、このようにロマンチックな書かれ方をしているのがほとんどなのですが、色々調べていくとこの「ルペルカリア祭」というのは名目上繁栄祈願のお祭りであるのですが実際は、男女にとってかなり刺激的な儀式が行われていました。その当時のローマは男女別々にくらしていたそうです。このルペルカリア祭は男女が出会う事の出来る唯一の機会であったため当時の民衆には大人気だったそうです。ではその儀式ですが、司祭がほぼ全裸の若い男性 2 人組を流血させて、その男性はほぼ全裸で流血したまま町中を走りながら妊娠、出産したいと願う女性を山羊の皮を引き裂いて作ったムチで打ちつけるというイベントでした。これは古代ローマでは流産や死産が多くて、出生率を高めるための神頼みとして行われていたそうです。その為、なかなか妊娠できない女性など神様のご加護が受けられると信じて自らムチで打たれることを望んだそうです。刺激的なのはムチ打ちだけではなかったそうです。前述しましたが、くじ引きをして相手を選び、お祭り期間中はあちらこちらで人目も気にせずやり放題というイベントも行われておりました。

このお祭りでカップルになった男女はそのまま結婚するということが多かったそうです。今でいう何とか教会の合同結婚式みたいなものではないでしょうか。ただ、貴重な男女の出会いの場であるこのお祭りは大人気で約1000年以上も続いていたそうです。ところが、313年にキリスト教が公認されて、キリスト教が定着してくると、ローマの神々を崇拝する異教徒のお祭りであるとしてかなり目障りになってきたそうです。5世紀末頃には性的な乱れを助長し風紀を乱す野蛮なお祭りであるとしてローマ教皇グラシウス1世によってルペルカリア祭は禁止されました。ただ、ルペルカリア祭は男女の出会いの貴重な場であったのでお祭りをただ禁止しても反発を招くことは明らかでありました。そこでローマ教会は上述しましたバレンタイン司祭の伝説を基に男女を結びつけるという要素を残しながらバレンタイン由来のお祭りであると解釈を変更していったそうです。そして496年に2月14日は「バレンタインデー」と定められました。このようにしてキリスト教徒と全く縁のない古代ローマのルペルカリア祭はキリスト教に乗っ取られ、政治的戦略によってバレンタインデーとなったそうです。ただ、これらの話は全て言い伝えであって、バレンタイン司祭が実際にいたかも定かではありませんし、古代ローマの儀式が野蛮だとアピールするために儀式の内容を盛ったのではともいわれています。それでは日本のバレンタインデーの始まりについてお話をしていきたいと思います。これは何となく聞いた事もある方もいらっしゃるかと思います。日本のバレンタインデーは神戸から始まっています。神戸のモロゾフが1932年にバレンタインデーにチョコレートを贈るというスタイルを紹介したことが始まりとされています。モロゾフの創業者が「欧米では2月14日に愛する人に贈り物をする」という習慣をアメリカ人の友人から聞き、このすばらしい贈り物の文化を日本でも広めたいと考えたことがきっかけでした。その後も外国人向けの英字新聞ジャパニアドバタイザーにバレンタインチョコレート広告を日本初で掲載し、以来太平洋戦争開戦前の1940年2月まで6年間にわたり毎年バレンタイン広告を掲載し続けました。ただ、当時は日中戦争の真っただ中ですし、その時は全く定着しなかったそうです。しかしモロゾフのオーナーは諦めませんでした。最初の広告から15年後の1951年、真っ赤なハート形パッケージのチョコレートでバレンタインを宣伝し、これに大阪の阪急百貨店が目をつけて、毎年の恒例行事になっていったそうです。では関東の始まりはどうだったのでしょうか。関西から遅れる事7年、1958年にメリーチョコレートカンパニーが新宿伊勢丹にバレンタインセール看板を出したことが初めてでした。1958年の1月メリーの社員がパリに住む友人から受け取った絵葉書に「パリでは2月14日はバレンタインデーといって花やカードなどを贈る習慣がある」と書かれていました。これをチョコレートの販促に使えないだろうかと考え、伊勢丹でバレンタインフェアを行いました。ただ、当時はやはりあまり売れなかったそうです。その翌年1959年、ハート形のチョコレートに **TO** と **FROM** を描いて、ここ

に贈り手と相手の名前を入れる事のできるサインチョコレートというものを販売したそうです。これが注目を集め、バレンタインは徐々に知られるようになりました。

1960年～70年頃という女性週刊誌が次々に創刊されて女性のライフスタイルが見直されてきた時代です。この潮流の中、「女性が男性に1年に1度、愛の告白ができる日」というキャッチコピーをつけ、宣伝したことが女性の心をとらえたようでした。しかし、これでとんとん拍子に…という訳にはいかなかったようです。

「女性から男性へ」のメッセージも1960年代当時は今のように肉食系のぐいぐい女性が少ないのか、あまり功を奏しなかったようです。日本ではバレンタインは定着しないのではという判断をされかけたこともあったそうです。しかし流れを変えたのが子供たちでした。1970年代頃から小中学校、高校で「女の子から男の子に告白できる日」としてバレンタインデーが盛り上がり始めました。そしてバレンタインデーの熱は子供たちから大人に伝わっていき、70年代後半ごろからはOLたちがチョコを買うようになり、売り上げは右肩上がりになっていったそうです。そして80年代には義理チョコ、ここ十数年では友チョコ、自分へのご褒美チョコ、逆チョコなんていうものもあります。このようにして見てみると、日本のバレンタインデーはモロゾフがその文化を伝え、メリーが女性から男性へチョコを渡すという形を作り、その後、子供たちが広めていき、徐々に時代に合わせて渡す相手や意味も変化していったのだなと思いました。今後、バレンタインデーはどのように変化していくのか敏感にキャッチして私も商売につなげていきたいと思っています。それではここで世界のバレンタインデーの過ごし方も少し紹介していきたいと思います。

まずはアメリカです。アメリカでは男性から女性にプレゼントを贈る傾向が強いです。チョコレートも贈りますが花とカードが定番のようです。高額なジュエリーなどを贈る人もいます。次にイタリアです。イタリアでは恋人同士でプレゼントを贈ることが多いそうです。プレゼントは形に残るもので赤いバラ等を贈るそうです。旅行に行ったりもするそうです。またイタリアでは2月15日はシングルデーというものがあり、独身の男女は恋人探しにパーティー等を行うそうです。その他、イギリスやフランスも同様に男性から贈り物をするのが一般的です。面白いなと思ったのがスコットランドです。当日に行なわれるパーティーに参加するとまず、男女がそれぞれ名前を書いた紙を帽子にいれます。そしてランダムに紙を引き、紙にかかれた名前の相手とペアを組み、その二人がパーティーの間、一緒に過ごすという事です。このお祭りから結婚までいきつくカップルも多々あるそうです。前述したルペルカリア祭の名残が残っている感じです。

Rotary 
大東ロータリークラブ